

あなたの命を守る「マイナ救急」が始まります

消防本部警防課救急係（☎53-7223）



マイナ救急とは…

救急隊員が傷病者のマイナ保険証（健康保険証として利用登録したマイナンバーカード）を活用して、傷病者の医療情報などを閲覧する仕組みです。

マイナンバーカードを見せるだけで、以下の情報が伝わります



- ・傷病者の説明負担が軽減されます
- ・より適切な処置が受けられます



マイナ救急の流れ



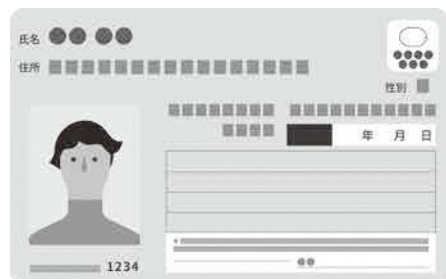
マイナ救急の奏功事例

意識がもうろうとし、意思疎通困難であった傷病者だったが、マイナ救急で薬剤情報を確認できたことで、消化管出血による貧血を疑い、緊急対応可能な病院へ搬送。医師からは「服薬情報が事前にわかり緊急オペなどの事前準備ができた」と感嘆された。

いざという時の「マイナ救急」は、登録が必要です！

救急要請時に本人の医療情報を確認できる「マイナ救急」は、マイナンバーカードと健康保険証の利用登録が必須です。実証事業では、8割を越える人が未登録で活用できませんでした。この機会に登録してください。

①マイナンバーカードを所有



②健康保険証の利用登録



登録は「マイナポータル」から

救急隊が現場に駆け付けいたら協力してほしいこと

- ・救急隊が本人確認を行います。救急隊へマイナンバーカードを渡してください。
※暗証番号は不要です
- ・救急隊が医療情報を閲覧するには、本人の同意が必要です。
※意識不明などで同意が難しい場合、命を守るために同意なしで閲覧することもあります

美しい景観を後世に引き継ぐために

【景観】都市計画課建築住宅室（☎75-8947）【歴史まちづくり】都市計画課都市政策室（☎75-8946）

景観には、海や川、山などの自然が生み出す景観と歴史的な建造物、町並みが創り出す景観があり、お祭りなど心に残る風景も景観の1つです。これらの景観は、それぞれ異なる自然条件や歴史の中で築かれてきた地域固有の財産であることから、市では、「村上らしい景観」を後世に継承するまちづくりを進めています。

『景観を創る』取り組み

町並みを構成するおのこの建物を、昔の面影が残る町家などに調和した外観にすることで歴史的な町並みを創出できます。景観計画や歴史的風致維持向上計画では、建造物の外観の修理、修景をする際の支援制度を設けています。



▲町並みに調和した建物の修景



▲地域の景観と調和する建物の外観

『景観を守る』取り組み

昔の面影が残る町家などの歴史的な建造物を残すことは、町並み景観の保全につながります。また、街路樹や生垣の剪定などの美化活動も、大事な景観まちづくりの一つです。景観計画重点地区の旧武家町地区では、申請のあった生垣所有者へ剪定のためのゴミ袋引換券を配布して、生垣の保全に努めています。



▲旧武家町地区の生垣



▲街路樹を剪定する美化活動（村上地域まちづくり協議会）

「村上市景観形成助成金制度」を利用して、美しい景観を引き継ぎましょう

村上市の歴史や文化、風土などの特色を残している地区では、景観を維持するため、建築物の外観の修理、修景をする際の支援制度を設けています。交付基準など詳細は、市ホームページをご覧ください。

地区の景観がさらに魅力あるものとなるためには、一人一人が主役となり、事業者や行政と協働で景観づくりに取り組むことが大切です。皆さんで、美しい景観を後世に引き継ぎましょう。